

行政相談活動に尽力



5月28日(木)にOKBふれあい会館で開催された行政相談委員全体会議において、委員としての活動が顕著であると認められ、当町の行政相談委員である西脇敏廣さん(飯ノ木)へ総務省中部管区行政評価局地域総括評価官より感謝状が贈呈されました。

行政相談委員は、行政相談委員法に基づき、総務大臣から委嘱を受けて、国の行政機関などに対する苦情、要望などの相談相手となる民間の有識者です。行政相談に係る定例相談所は、毎月第2水曜日の13時から16時まで、町老人福祉センターにて開設されています。毎月の広報紙に掲載の『各種相談無料でできます』の一覧をご確認ください。相談は無料で秘密は厳守されますので、お気軽にご利用ください。

自分も相手も大切にする



高田中学校が人権推進校に指定されたため、6月25日(木)に交付式が行われ、岐阜地方法務局大垣支局長から人権推進校指定書が交付されました。指定書を受け取った生徒代表の高木璃希さんは「友達や家族と人権について話すことで、人権について考える機会を増やしていきたいです」と話し、今後の取り組みに対する決意を話してくれました。

また、交付式の後は「全校道徳」の授業が行われ、生徒たちは「アサーティブコミュニケーション」(相手を尊重しながら自分の気持ちを伝えるコミュニケーション)を実践しながら人権について学びました。これから1年間、町人権擁護委員と一緒に「人権の花運動」や「ボッチャ体験教室」などの人権啓発活動を行い、人権尊重の理念に対する理解を深めていく予定です。

「東海に天民あり」といわれた名医



6月28日(日)に福源寺(室原)において、北尾春圃顕彰法要(町北尾春圃顕彰会主催)が行われました。北尾春圃は室原に生まれ、江戸時代の名医として知られた人物です。朝鮮通信使との会談の中で、朝鮮の医師である奇斗文キトフンから「東海に天民あり」と絶賛され、その腕前は診察待ちの人々で門前に市場ができるほどであったという逸話が残っているほどです。また、学者でもあり、著書も多く、11種に及ぶ書物を出版しました。

法要では青木嘉男会長からの追悼の詞、参加者一同による読経や焼香があった後、北尾春圃の墓前で手を合わせ、その偉業をたたえとともに冥福を祈りました。

2度目の世界挑戦



7月16日(木)からタイで開催されるAsia Aquatics第12回アジアエイジ大会へ日本代表選手として出場する野村倫太郎選手(大垣東高等学校)が、6月29日(月)に川地憲元町長を訪問しました。

野村選手は「国際大会に出られることは本当に貴重な経験だと思います。自分の得意なプレーやサウスポーである強みを生かしてチームに貢献したいです」と抱負を語り、川地町長は「いつも活躍している姿を見て大変うれしく思っています。3月に開催された全日本ジュニア水球選手権大会では、岐阜県代表の初優勝に大いに貢献し、ベストセブンにも選出されたと聞いています。今回の国際大会への出場を、さらに大きく成長する機会としてきてください」とエールを送りました。